

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ヨシワ工業株式会社 本社工場

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡海田町明神町 1番48号

(3) 業種

自動車部品・附属品製造業

(4) 事業所位置図
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成 19 年度を基準年度とし、令和 3 年度から令和 7 年度までの 5 年間とする。

3 計画の基本的な方向

1、基本的な考え方

当社は、環境の保全を経営の重点課題と位置づけ、環境に配慮した事業活動に努め、環境への負荷の低減を推進することにより、持続可能な社会づくりに貢献していく。

昨今の環境問題の中でも、とりわけ重要視されている地球温暖化防止については、自らの事業活動のみならず、当社の製品を使用する客先のことも考慮し、温室効果ガスの排出抑制に努めていく。

2、方針

①地球環境に配慮し、エネルギー消費効率の向上及び効果的な使用に努め、エネルギー消費の改善を図る。

②エネルギーを消費する設備の運転及び、保守、点検などに関して、管理標準を設定しこれに準拠した管理を行う。

③エネルギー管理体制の充実を図ると共に、省エネルギーに関する意識の啓発に努める。

④省エネルギー活動に対して継続的改善を図ると共に職場環境の維持・改善に配慮する。

⑤省エネルギー活動は、関連する法規制及びヨシワ工業株式会社の環境方針に則したものであることとする。

⑥業務の規範及び、性質を配慮し、エネルギー管理方針の遂行に関しては柔軟に運用する。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

| 温室効果ガスの種類 | 温室効果ガス排出量 (t-CO ₂) | |
|-----------|--------------------------------|---------|
| | 基準年度 | 直近年度 |
| | 平成 19 年度 | 令和 2 年度 |
| 二酸化炭素 | 4,880 | 3,042 |

【非エネルギー起源二酸化炭素】

| 温室効果ガスの種類 | 温室効果ガス排出量 (t-CO ₂) | |
|-----------|--------------------------------|-------|
| | 基準年度 | 直近年度 |
| | 平成 年度 | 平成 年度 |
| 二酸化炭素 | - | - |

【その他温室効果ガス】

| 温室効果ガスの種類 | 温室効果ガス排出量 (t-CO ₂) | |
|---|--------------------------------|-------|
| | 基準年度 | 直近年度 |
| | 平成 年度 | 平成 年度 |
| メタン | - | - |
| 一酸化二窒素 | - | - |
| その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3) | - | - |

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

| 温室効果ガスの種類 | 基準年度 (平成 年度) | | 削減目標 | | 目標年度 (平成 年度) |
|-------------------------|-----------------|--|------------|------------|-----------------|
| | 排出量 (a) | | 削減率 (b) | 削減量 (c) | 排出見込量 (d) |
| エネルギー起源CO ₂ | | | | | 0 |
| 非エネルギー起源CO ₂ | | | | | 0 |
| メタン | | | | | 0 |
| 一酸化二窒素 | | | | | 0 |
| その他 温室効果ガス | | | | | 0 |
| 温室効果ガス 実排出量総計 | | | | | 0 |
| 温室効果ガス みなし排出量 | | | - | | 0 |
| 目標設定の考え方 | | | | | |

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

生産個数:千個

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

| 温室効果ガスの種類 | 基準年度 (平成19年度) | | | 原単位 削減目標 | 目標年度 (平成 年度) | | |
|-------------------------|--|------------------|------------|-------------|------------------|--------------------|------------------|
| | 排出量 (a) | 原単位 数値 (b) | 原単位 (c) | 削減率 (d) | 排出 見込量 (e) | 原単位 見込数値 (f) | 原単位 見込 (g) |
| エネルギー起源CO ₂ | 4,880 | 5,614 | 0.87 | 4.6 | 3,320 | 4,000 | 0.83 |
| 非エネルギー起源CO ₂ | | | | #VALUE! | | | |
| メタン | | | | #VALUE! | | | |
| 一酸化二窒素 | | | | #VALUE! | | | |
| その他 温室効果ガス | | | | #VALUE! | | | |
| 総排出量 | 4,880 | 5,614 | 0.87 | 4.6 | 3,320 | 4,000 | 0.83 |
| エネルギー消費原単位 (原油換算k l) | - | - | 0.39 | 4.9 | - | - | 0.37 |
| 目標設定の考え方 | エネルギー起源CO ₂ は原単位ベース年1.0%の削減 | | | | | | |

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

| | 項目 | 数値目標 | 具体的な取組み |
|---|----------|-------------|--|
| 1 | 電気使用量の削減 | 電気の使用量を5%削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・生産ラインの稼働に合わせて集塵機稼働 ・設備のエアリーク箇所を特定し復元 ・工程内不良の低減活動しロス削減 |
| 2 | 電気使用量の削減 | 電気の使用量を5%削減 | <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ電気機器への更新 ・設備投資及び更新時は、トップランナー基準を満たした機器装置の使用 |
| 3 | | | |
| 4 | | | |

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

| | 種類 | 合計量 |
|---|----|-----|
| 1 | 無 | |
| 2 | | |
| 3 | | |

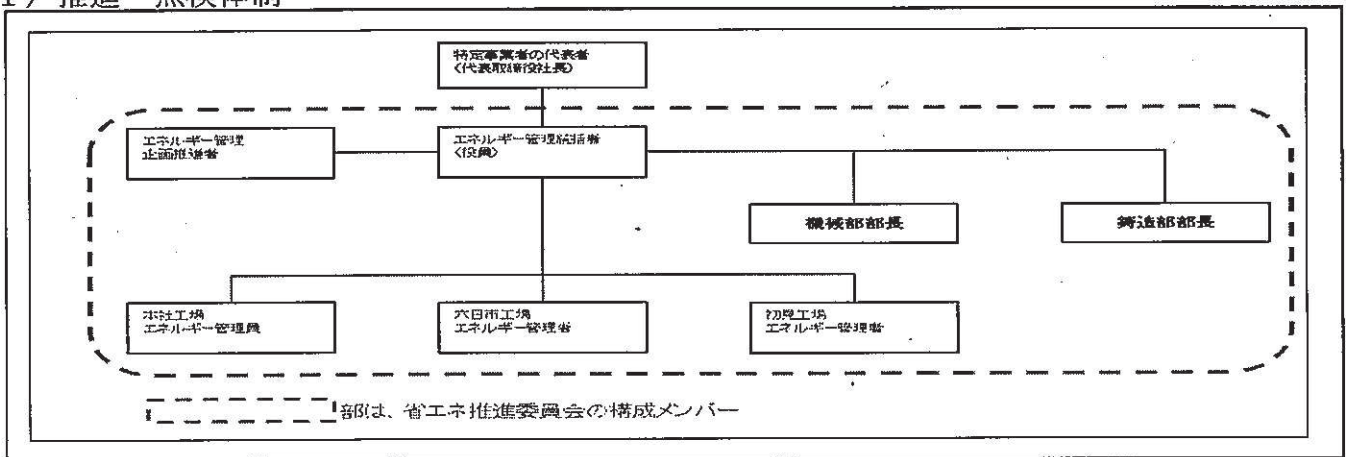
○ その他の取組み

| | 項目 | 数値目標 | 具体的な取組み |
|---|----|------|---------|
| 1 | 無 | | |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

- ・エネルギー管理統括者を中心として、省エネ推進委員会にてエネルギー管理状況の把握及び問題点の検討を行い、定期的に評価・見直し等を行い、継続的な改善を図る。
- ・環境推進委員会の開催に合わせ、省エネ法に基づく管理標準の管理点検項目について、実施状況をパトロールし実施確認と是正への協議を行う。
- ・毎年度の取組状況、点検・評価内容等については、計画書と共に公表する。

(3) 計画書等の公表

- ・当社のホームページ上で公開する。
- ・毎年度発行する環境報告書において、計画内容及び、進捗状況を掲載する。

